

ミッキーとミニーのランナウェイ・レイルウェイ

ファクトシート

ディズニーの人気キャラクターたちが短編アニメーションの世界に集合

ミッキーとミニーのランナウェイ・レイルウェイはディズニーの人気キャラクターが多数登場するほか…ゲストの心をつかむ存在として新たに生み出された可愛らしい小鳥が登場します。

- **ミッキーマウス&ミニーマウス**– ディズニーキャラクターの元祖というべきミッキー & ミニーは、赤の小さなオープンカーに乗ってランナマックパークへの楽しいドライブに出発しようとしています。ピクニックに最適な場所を探していたドライブで一体何が起きるのでしょうか？
- **プルト**– ミッキーの愛犬は、行方不明だったピクニック用バスケットをミッキー & ミニーに届けようとしています。
- **エンジニアのグーフィー**– ひよろりとした長身でお馴染みのミッキー & ミニーの仲間は、ランナマックパーク内を蒸気機関車で走る平穩無事がお約束の短編アニメーションの世界にゲストを招待してくれます。
- **デイジーダック**– デイジーのダンススタジオを切り盛りするオーナーは、これまでにない素敵なダンスをゲストに教えてくれます。
- **ドナルドダック**– 皆から愛される短気の“問題児”は、カーニバル内で開いていたホットドッグスタンドから看板を盗まれてまたも腹を立てています。
- **ジャックハマーのピート**– この大きなヤマネコが生み出す振動は、ミッキー & ミニーに予想もしない結末をもたらすかもしれません。
- **チュービー**– ミッキーとミニーのランナウェイ・レイルウェイのために創造されたこの可愛らしい小鳥は、ランナマックパーク内で歌い踊るのが大好きです。

開発裏話：ミッキー & ミニーの短編アニメーションの世界に入り込む体験

ミッキーとミニーのランナウェイ・レイルウェイの開発にあたり、ディズニーのイマジニアたちは短編アニメーション「ミッキーマウス！」の全話を何度も見返しました。イマジニアのケヴィン・ラファティは、各話のスチール写真を1枚ずつオフィスの壁に貼っていました。イマジニアたちは、この短編アニメーションが持つ楽しさと魅力というエッセンスを新たに開発するライド系アクションの基本理念に反映させたいと考えました。彼らのリサーチは、短編アニメーションの世界の忠実な再現というミッキーとミニーのランナウェイ・レイルウェイに関するより広義のコミットメントのほんの一部でしかありませんでした。

- ウォルト・ディズニー・イマジニアリングはこの新アトラクションが短編アニメーション「ミッキーマウス！」と同様の手書き風の見栄えになるよう、アニメ制作に携わったポール・ルーディッシュ（エグゼクティブプロデューサー） & ジョセフ・ホルト（アートディレクター）と綿密な協議を重ねました。例えば、イマジニアたちは動きを強調するために短編アニメーションで一般的に使用されているテクニックを流用し、お祭りシーンに登場するサボテンが空中に存在しているように見せるためにその周囲に動き回る“線”を追加しました。
- 短編アニメーション「ミッキーマウス！」の作曲を担当したクリストファー・ウィリスは、ミッキーとミニーのランナウェイ・レイルウェイ用の新たなテーマソング“ナッシング・キャン・ストップ・アス・ナウ”を書き上げました。
- この新アトラクションには1930年代のディズニーの短編アニメーション用にディズニー・レジェンドのジミー・マクドナルドが制作したサウンドエフェクトのほか、マクドナルドが当時使用していた機材を使用して制作された新たなエフェクトも使用されています。
- エンジニアのグーフィーが運転する蒸気機関車に搭載された笛の音の録音では、ミッキーマウスのデビュー作である1928年制作の短編アニメーション『蒸気船ウィリー』に登場した三全音（トライトーン）の笛が使用されました。
- ウォルト・ディズニー・イマジニアリングとのコラボレーションにより、ディズニー・テレビジョン・アニメーションは新たに10枚のポスターを制作しました。チャイニーズシアターのロビーに掲示されたこれら10枚のうち9枚は既存の短編アニメーション「ミッキーマウス！」を、残る1枚はチャイニーズシアターで新たに公開された短編アニメーション『パーフェクト・ピクニック』をそれぞれテーマとしたものでした。
- この新アトラクションでゲストが乗る車両は、短編アニメーションの世界の手書きに見えるよう特殊な塗装技術が用いられました。
- この新アトラクションの華やかなマーキーは、20世紀半ばに制作された大作映画のプレミア時にカスタムメイドで作られた派手なマーキーにヒントを得、明滅する電球やゲストをチャイニーズシアターに迎えるミッキー & ミニーの躍動感あふれる姿を描いた手作りのネオンが使用されています。

アトラクション内に多数存在する隠し要素

ミッキー・マウス & ミニー・マウスをモチーフにした初のライド系アトラクションであるミッキーとミニーのランナウェイ・レイルウェイには、ディズニーの歴史に敬意を表した多数の隠し要素が存在します。これらをすべてを見つけるにはかなりの時間を必要としますが、そのうち幾つかをここに紹介しましょう：

- 「オズワルド勝利！（Oswald Wins!）」という見出しの新聞- ウォルト・ディズニーがミッキー・マウス以前に描いた短編アニメーション用キャラクターのオズワルド・ザ・ラッキー・ラビットを取り上げています。
- 水処理工場のアイワークス & ユーワークス・ウォーターワークスという名前は、初めてミッキー・マウスを描いたアニメーターとして知られるディズニー・レジェンドのアブ・アイワークスに由来しています。
- 1401 フラワーショップは、カリフォルニア州グレンデールにあるウォルト・ディズニー・イマジニアリング本社へのオマージュとなっています。
- 新アトラクション内に散見される 1901 と 1928 という数字は、それぞれウォルト・ディズニーとミッキー・マウスの誕生年を表しています。
- ダッパードッグス- ディズニーのテーマパークのメインストリート USA に 1 日数回登場する路上パフォーマンスグループ“ダッパードンズ”をモチーフにしたキャラクターです。

###